

観光社会資本の事例

テーマ	市民に拓かれた親水広場（アクアマリンパーク：小名浜港1,2号埠頭）
【施設の状況写真】	
	<p data-bbox="863 533 1441 577">倉庫群利活用 H20 一部オープン予定</p> 
<p data-bbox="137 891 1441 987">アクアマリンパーク(小名浜港1・2号埠頭)は、海と自然や文化と触れ合う憩いの広場。ウォーターフロントの魅力を活かしたイベントもたくさん実施されている。</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p data-bbox="137 1541 1441 1608">毎月第3日曜日に親水ガーデンにて行われるフリーマーケット</p>	
<p data-bbox="137 1641 1441 2056">【観光資源としての利用状況】 アクアマリンパークの平成16年度来場者は238万人を誇り、福島県内随一の観光スポットとなっています。その背景としては、「いわき らら ミュウ」観光物産館と「アクアマリンふくしま」水族館を行き来する連絡路になっていることが挙げられます。花火大会を始め、各種イベントなど年間100日を上回る事業が実施されています。 また、当パークは、まちづくり団体(小名浜まちづくり市民会議)の活動が主体となり、港湾管理者と運営の協定を結んでいます。</p>	

テーマ	市民に拓かれた親水広場（アクアマリンパーク：小名浜港1,2号ふ頭）
【社会資本の基礎データ】	
名称	アクアマリンパーク(小名浜港1,2号ふ頭)
所在地	福島県いわき市小名浜字辰巳町地内
事業名	港湾環境整備事業
事業主体	福島県
事業期間	平成8年度～平成12年度
【社会資本の役割・効果】	
にぎわい効果の背後市街地への波及	
<p>アクアマリンパークのにぎわい効果を背後市街地へ波及させるべき手段の一つとして、その間にある既存の倉庫群のリニューアルが平成17年度に開始され、平成20年度に一部オープンを目指しています。</p> <p>また、平成13年には、小名浜の港町再生のための長期ビジョン「小名浜まちづくりランドデザイン」を策定し、市民と行政がパートナーシップ協定を結び、役割を決めながら、まちづくりに取り組んでいます。</p>	
【位置図】	
	
【関連ホームページ】国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所 http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/	